

ASTAGE COLLEGE MAGAZINE

ASTAGEカレッジの活動情報が満載

隔月発行

9月号

■2024.8.8 LIVE学習 株式会社 濱口商會 (浪速区)

株式会社 濱口商會
 ◆大阪市浪速区桜川1-7-17
 ◆☎06-6561-7712
 ◆営業時間8:00~17:00
 ◆土日祝定休

Webサイトはこちらから→

<https://www.hamaguchishokai.co.jp/>



代表取締役社長 濱口さん

「とにかくやってみよう、ダメなら元に戻そう」をモットーとし、「会社は家族」と考えて、社員が一人丸となることを大切にしています。

プロ野球選手でも打率3割。今がダメでも「その後の行動で挽回して、トータルで100点を目指す」という前向きさを大事にしています。



営業部 係長 矢倉さん

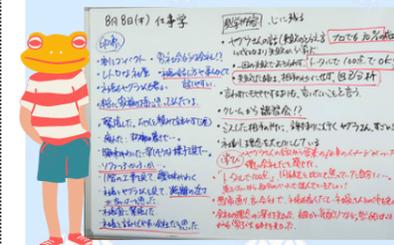
■8月8日 しごと学「LIVE学習(企業見学会)」

大阪市浪速区にある「株式会社濱口商會」さんに行ってきました。同社は、建設資材の総合商社として、工事現場で使用する鉄板などの資材を扱っておられます。同社は、濱口社長のお爺さんが創業され、そこから3代に渡って経営を続けてこられた伝統ある会社です。今回の見学では、濱口社長と営業部係長の矢倉さんから色々な体験談を伺いました。

矢倉さんは入社10年目の転職組。転職のきっかけは、大学の先輩のご紹介というご縁だそうです。幼い頃は、チョットの失敗で落ち込んでしまうタイプで、誰かのせいにして都合よくやり過ごすような性格だったとのこと。そんな矢倉さんが語ってくれたのは濱口商會での失敗経験でした。あるお得意さんに「〇〇したいから急ぎ持ってきて！」と曖昧に頼まれた矢倉さんは、これまでの情報を元に資材を持って現場へ急行。「よく来てくれた！」と褒めてもらえると聞きや「(欲しかったものと)ちゃうやんけ！」と逆に怒鳴られてしまいます。

いつもならそこで塞ぎ込んでしまう矢倉さんですが、想いを新たに「何がいけなかったのか教えてください。」と真摯に対応されました。その姿を見たお得意さんは矢倉さんを信頼し、今まで以上のお付き合いに発展していったそうです。

濱口社長からは「会社は家族」「社員の長所を伸ばす」といった経営理念についてお話を頂きました。同社には勤続60年で80代の超ベテラン顧問から20代の若手社員まで世代も色々。



振り返りのホワイトボードはぎゅっしり!

昔は当たりまえだったことも今ではNGという事も実際あるそうです。若手社員からの率直な意見を聞いて、そこから社内研修に発展した話も少なくなく、些細なことも話し合う風通しの良さや、より良い職場づくりに努める濱口社長の想いが伝わってきました。濱口社長、矢倉さん、濱口商會のみなさん、本当に有難うございました!!



「会社は家族」って、ホントに温かい会社だな(^^)



猫は30匹くらい、犬とか亀とか大きめのイグアナとかも居るんやで(=^・^=)



誰が大きめやねん! そんなたってへんで...

◆〒552-0022 大阪市港区海岸通1-1-10 ◆天保山マーケットプレース3F ◆☎06-6576-5700



よのなか探訪

■7月9日 よのなか学「天保山アニバ」まだ暑さが緩やかだった7月の初旬に、みんなで天保山マーケットプレイスにある「天保山アニバ」に行ってきました! 同施設は、色んな動物たちに触れたり、遊んだりすることができる屋内型動物ふれあい施設です。動物に触れる...とかエサをあげる...とか、子どもの頃なら何気なく出来たことが、大人になると何でか怖くなったりして、割とドキドキワクワクな時間を過ごせました。ドンドン積極的に動物たちに触れるメンバーを横目に、逃げ回る動物苦手なスタッフ。一人ひとりの個性が見えたひと時でした(笑)



焼きそば・わたあめ・クレープなどなど(#+^#)
ゲームや出し物なんかもあって、大盛り上がりでした!

初めてクレープ生地を焼くので、まずはフライパンの動きをイメトレしますね...

お祭りなので、コスプレしてきました。水の呼吸を使って村戦ゲームに挑みます...(笑)



社会に学ぶ 社会の中で学ぶ 社会の一員として学ぶ

編集・発行元

ASTAGE college

自立訓練(生活訓練)事業所 アステージカレッジ

☎ 536-0008

大阪市城東区関目 5-3-9-2F

☎ 06-4400-1882 ☎ 06-7633-8863

✉ info@omitas.net



■京阪「関目」
 ■地下鉄
 「関目高殿」
 「関目成育」
 から徒歩3分
 見学・体験
 随時受付中

ASTAGEカレッジは、こんなお悩みをお持ちの方をサポートする専門機関です。

- 病や障がいについて相談したい方
- 不登校・引きこもり
- 会社を休職中の方
- 家族や関係者からのご相談
- 就職サポートを受けたい方
- 居場所・仲間づくりをしたい方

♪ 冴えない日常すら愛そう
死ぬときに笑えてりゃ最高!
This is my life
飾らない
This is my life ♪

レオンさん

児童養護施設出身のレオンさんと元職員(現 大学教員)の荒屋さんが、よのなか学に登場♪ デリケートなテーマだけに緊張感のあるスタートでしたが、レオンさんから「児童養護施設ってそんなに悪い所ではなくって…(笑)」と色々なお話を聞くにつれ、ドンドンほぐれていきました! 現在は会社員として働きながらラッパーとしても活動するレオンさん。曲も紹介してくれて、会場は大盛り上がりでしたYo!!



7月30日 よのなか学
「児童養護施設」のリアル

荒屋さん
(人間科学大学)

皆さんのお小遣いも年金も、誰かの労働や税金が元にあるよね。これって当たり前やけど、大事やねんで。

小林恵さん
(OWL PLANNING代表)

7月17日、8月21日
生活学「お金について」

7月、8月と2回に渡って、生活学で「お金」について学びました。講師は小林さん(OWL PLANNING代表)です。お金がカタチを変えて「税金」となる事や、その根拠となる憲法や法律などにも触れていきました。毎日の生活に欠かせない「お金」ですが、その使い方・貯め方・活かし方などは、学校などでは学ぶ機会も少ないもの。『家計を固定費と流動費に分けて見直す』という見方を習い、新たな気付きが沢山ある素晴らしい機会となりました!



7月4日 自分探求学
「人生グラフ」宮田博文さん



宮田博文さん
(株)宮田運輸 会長



全国に「愛」で物流の輪を広げる宮田さん。宮田さんと言えば、トラックの荷台に運転手さんのお子さんが描いた絵をラッピングする「こどもミュージアムプロジェクト」を立ち上げた方としても有名なのですが、その背景にある「トラック愛」や「大好きなトラックが起こした悲しい事故」といった色々なお話を伺いました。単にトラックが好きというだけでなく、社員や顧客を愛するように信じ切ることを、如実に実践されている姿が垣間見えました。共に学ぼうと参加した経営者さんたちにとっても、内容の濃い時間となりました!

株式会社 宮田運輸
◆〒569-0831大阪府高槻市唐崎北3-24-12◆☎072-677-3949
Webサイトはこちらから→



やさしい気持ちで、
未来をつくる。
愛でいけるやん!

チャレ・クックでは、参加者同士で相談しながら調理を進めます。実践ではハブニングも起こりますので、色々な状況の変化に対応するチームワークが鍛えられますね!



■7月3日チャレ・クック
◎レンジでふっくら! レンジハンバーグ
◎キノコのレモンオイルマリネ
◎ズッキーニのレンジ蒸し

■8月7日チャレ・クック
◎蒸し鶏のねぎゴマ油だれ
◎ニラとモヤシのコチュマヨ和え
◎大根と椎茸の中華煮



7月3日、8月7日
生活学「チャレンジクッキング」

ASTAGE COLLEGE EVERYDAY GALLERY

ASTAGEカレッジに来てくれた
ビジターの皆さん

ASTAGEカレッジでは、ビジター参加者を募集しています。当事業所の活動に賛同し、共に学んでみたいという方は、お気軽にお問い合わせください(^v^)/



小林恵さん・息子さん



中西雄也さん



松本さとこさん



山本ゆかりさん

8月24日
いきる学「未来ダイアログ」



藤野さんは終戦まもない頃、キラキラと光る金属の筒を拾いました。残念なことにはそれは戦時中に使用された不発弾で…。藤野さんは両腕の手首から先と両目の視力を失いました。

持ち前のバイタリティーで幾つもの困難を乗り越えてきた藤野さん。大阪聾学校の教師として、延べ1,000名を超える生徒たちを育てました。そんな藤野さんだからこそ、その言葉には力強くも温かさがあふれ、参加者それぞれが想いを新たにしました。

人生を楽しく生きることに
これが一番、大切やね。

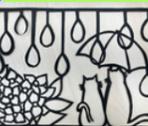
藤野高明さん
(元 盲学校教師)



■ 8月 創る学
「指編みで鍋敷きを作ろう」

「指編み」というなれない作業に一同大苦戦! イライラする人、もう駄目だと諦めそうになる人など、それぞれの反応がとってもユニークでした! メンバー同士で教え合いするのも、とっても大切ですね!

自らデザインし、台紙を切り抜き、カラーセロファンを貼っていくというシンプルな作業ですが、微妙な力加減や繊細なタッチが求められますね。



■ 7月8日~ 創る学
「ペーパーステンドグラス」

日常にある何気ない素材を使って
アート作品ができるということ、
みんなに知って欲しいね!

吉田晴美さん



大きめの葉っぱを薬液につけて柔らかくし、その葉っぱを切り抜き一つのアートを作っていきます。なかなか集中力のいる作業で、スタミナが切れそうになることもありましたが、吉田さんのポジティブな声かけに支えられて、全員が完走! 出来上がった作品はどれも個性的で、どの作品も雰囲気の良いものに仕上がりました!

7月13日
いきる学「葉っぱ切り絵」